

新たに 大人の仲間入り

—成人式—

1月15日、新たに大人の仲間入りをした若者を祝福する成人式が町文化会館で行われました。

この日出席したのは192人（男93人、女99人）で、女性はやかやかな振り袖姿がほとんど。男性は背広や紋付袴で身を包み、久しぶりの再会に目を細めて談笑する姿があちこちに見受けられました。

式典が始まると出席者の顔も真剣そのものになり、みなさんは立派な大人として、地域社会の中で新たな権利と責任をもって生きて欲しい。これからのまちづくりのために、若いみなさんの活力に期待します。」と激励され、



と緊張ぎみ



新しい言葉を述べる鈴木秀恒さん(栗山)

成人としての決意を新たにすたようすでした。

また、恩師代表としてあいさつした加瀬博幸先生（横芝中）は、「みなさんが生まれた年は、カップラーメンが発売された年でした。今ではどの家庭にもあるヒット商品でしょう。みなさんは、このカップラーメンのように、誰にでも好かれ、愛され、社会に貢献できる人間になってください。」と話しかけられると、大きな拍手が湧き上がり、緊張ぎみだった場内が一瞬なごやかな雰囲気になりました。

式典終了後は、クラスごとに記念撮影が行われたあと、三三五、新年会に、クラス会へと向かっていきました。

横芝町

好きですか？

成人式に出席した若者たちに、今の横芝町をどう思うか、アンケート方式で伺いました。

受け付けを済ませたあと、式典が始まるまでの短い時間を利用してのアンケートで、細かな質問はできませんでしたが、大人の仲間入りをしたみなさんの考えをまとめてみましたのでご紹介いたします。

（対象者192名、回答者149名、回答率77・6%）

ふるさと意識は健在

「あなたが出身地を聞かれたとき『横芝町』と胸を張って答えられますか」との質問に、85%の人が「答えられる」と回答し、「答えられない」とした人は13%にとどまっています。とかく小さなまち(?)に住む人は、答えられないことが多いそうです。自分の住むまちの名を堂々といえることは、ふるさとへの思い入れとつながるものと考えられます。

このアンケートの数値からみて、横芝の若者たちの「ふるさと意識」は健在といつてよさそうです。

グラフ1

「横芝の魅力」では半々

ズバリ「横芝町に魅力があるか」を二者択一で答えてもらったところ、「魅力がある」が50%、「魅力がない」が48%で、ほぼ半々に分かれました。

グラフ2

スポーツ・レク施設の充実がトップ

「これからの横芝町にとって、特に必要なものは何か」については、スポーツ・レクリエーション施設の充実が40%でトップ、次いで観光資源の開発24%、自然環境の保全20%、農業・商業・工業など産業の発展18%の順、上位は若者のニーズが全面的に反映